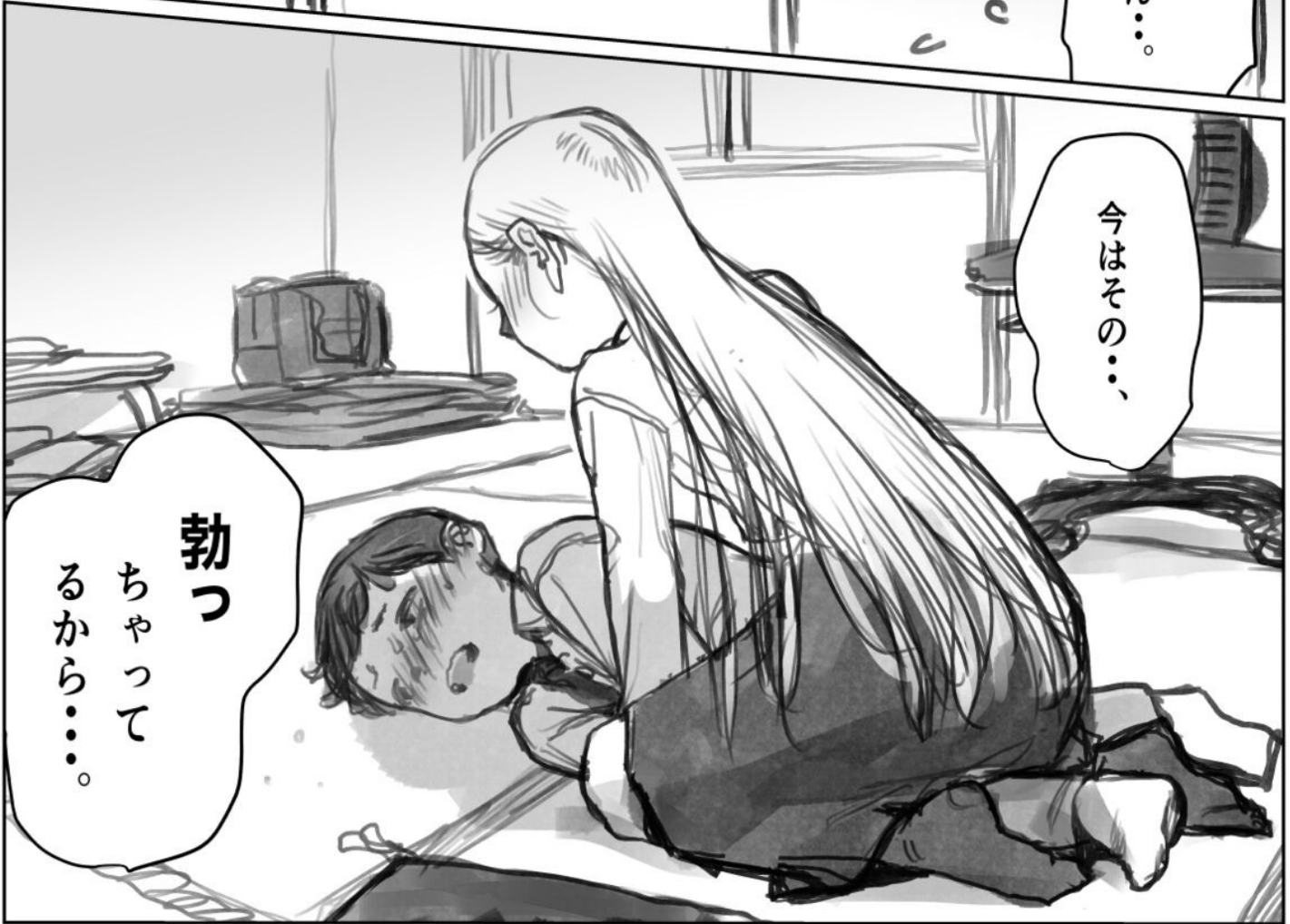


ま、まって！
サーシャさん…。



今はその…

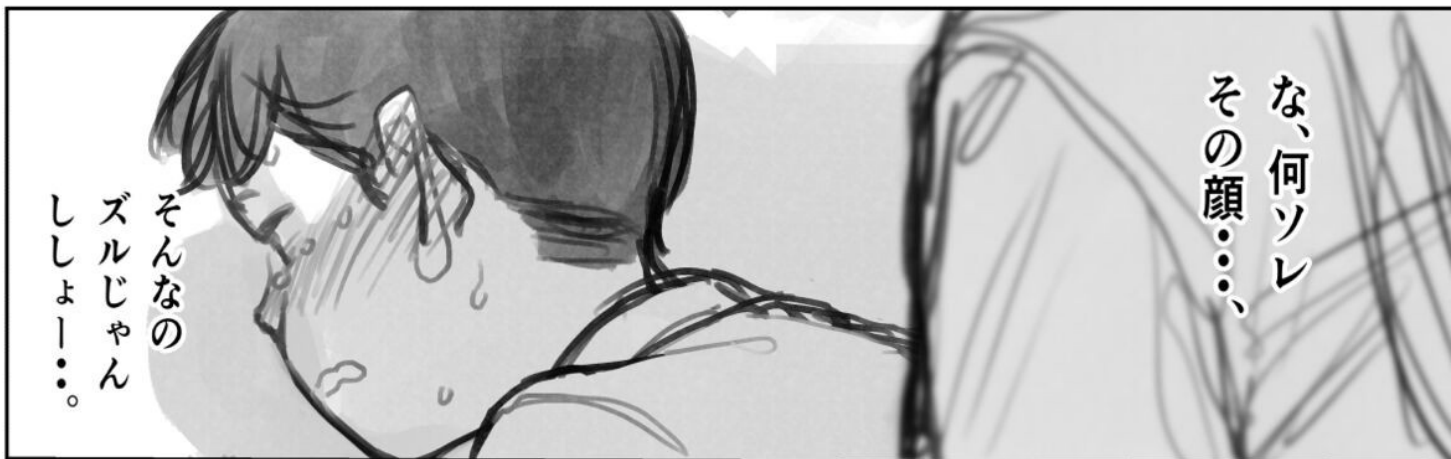
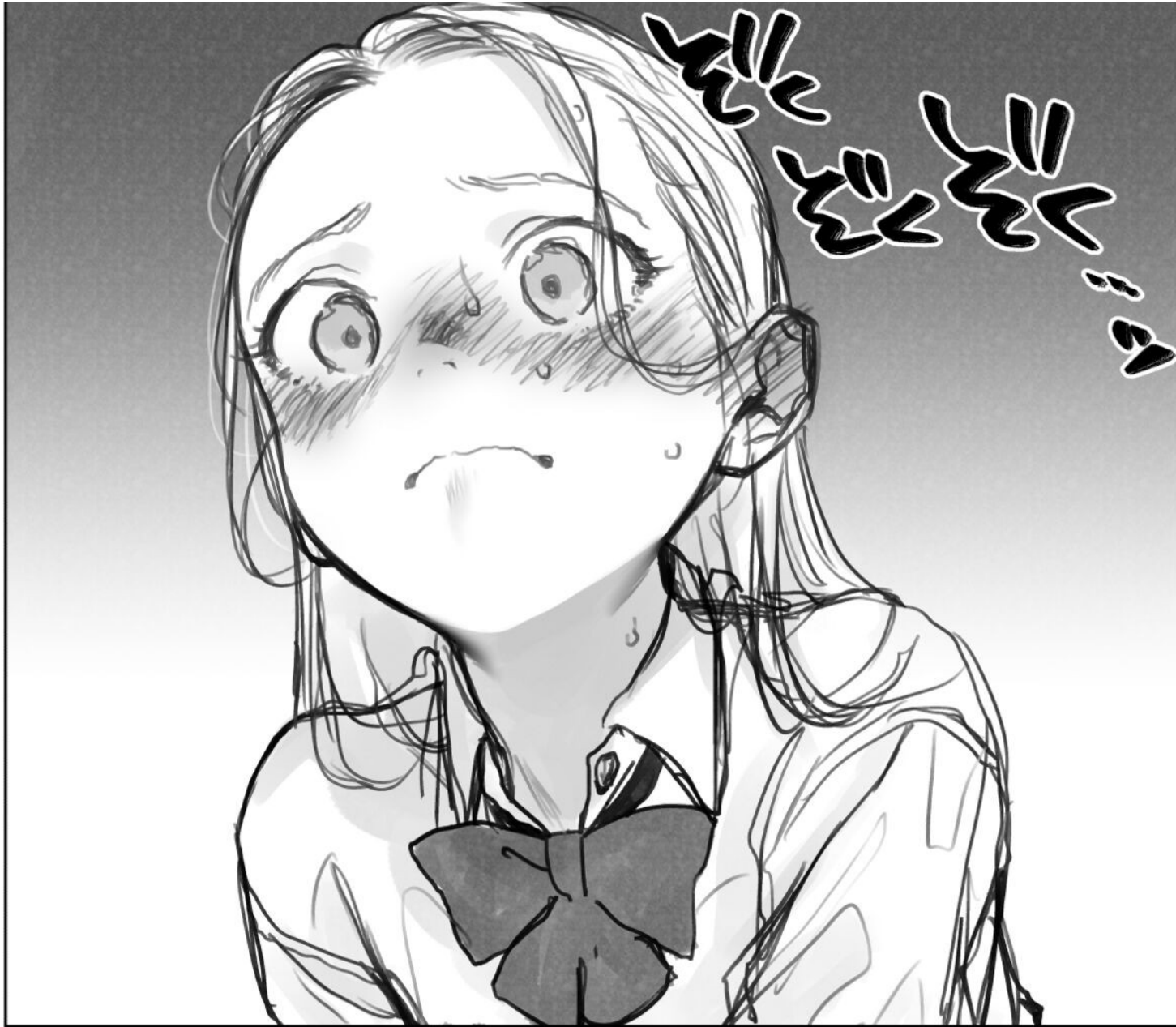
勃っ

ちやっ
てるから…。



せめて収まるまで
待って…下さい。







全部許して
あげるだから
小さいになる前に
見せて…。

ちよ…ッ!
む、無理やり
脱がさないで…!?

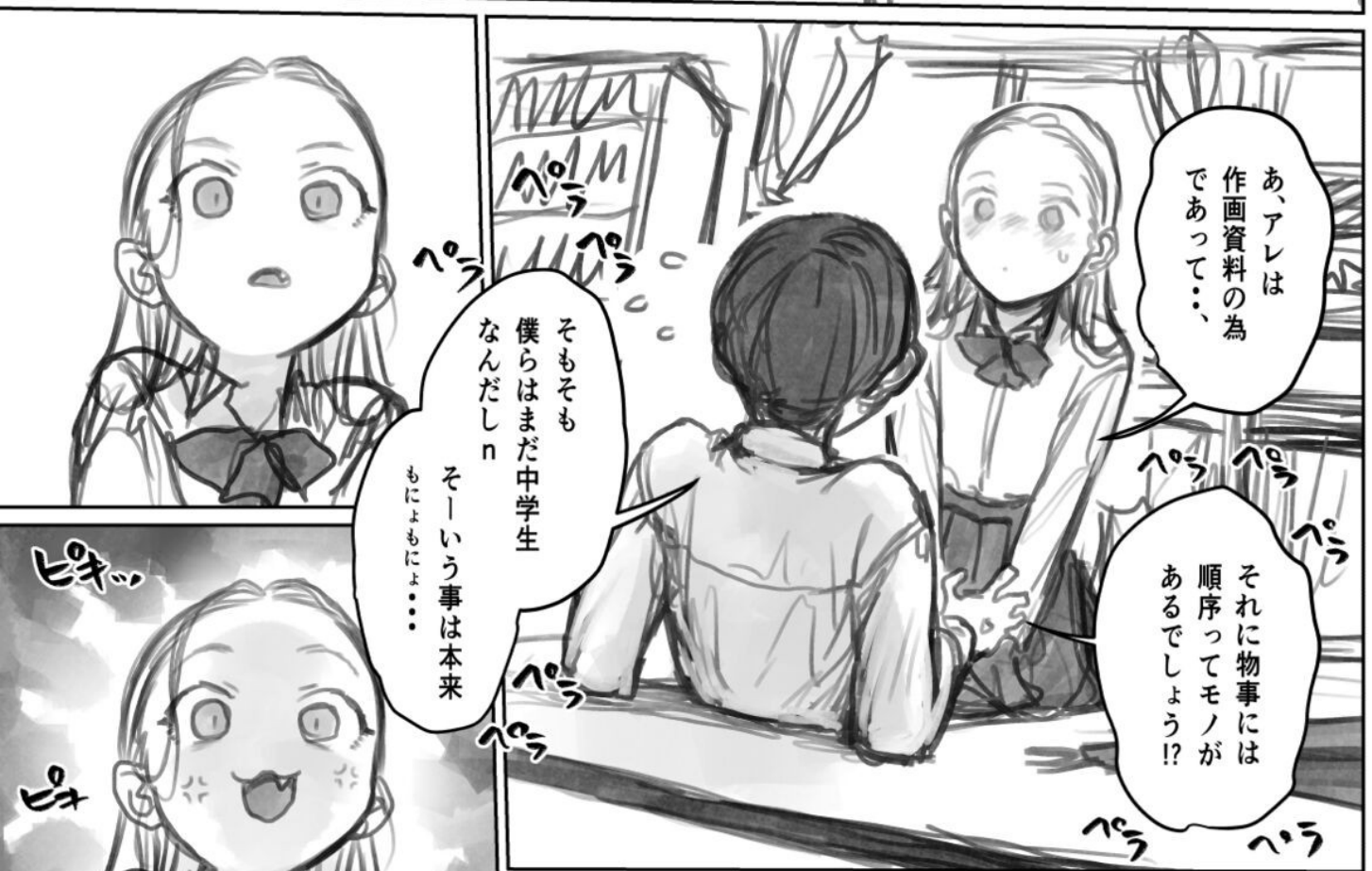


じゃあ、ししよー
自分で脱いでヨ。

え…ッ!?

弟子が見せたなのに
ししよーがシないって
ズルじゃない…!?

うう…ッ!



あ、アレは
作画資料の為
であって…、

それに物事には
順序ってモノが
あるでしょう!?

そもそも
僕らはまだ中学生
なんだしn
そーいう事は本来
もによもによ…

ピキッ
ピキ
ピキッ

うらああああ

ッ!!

がばいッ

!!!?

わあああああ
あああああッ!?

今日は
逃げられると
思うなー!





今日のサーシャは
そんな言い訳許さない
ビーストモード
だからネー！

ひびひびびび…ッ！



おらッおらッ！
ココがイイのかーッ!?

もっともっと
愛弟子の膚に
なれーっ！

や、やめ…ッ
腰変な振り方
しないで…



ち、近すぎ…
っていろいろか密着し過ぎ…！

耳元でサーシャさんの
息遣いとか匂いとか
色んな感触とか…

色んな情報がいっぺんに
入ってきて脳の処理が
追いつかない…

はは

はは

はは

はは

訳がわかん
なくなっちゃ...

ぎゅ

ぎゅ
ぎゅ

うう...ツ!!

ツツ

ピクッ
ピク

ピク...

ピク...

はま...

はま...

はま...

はま...

え...ツ!?

あ...

え...?

ししよ...?





もしかして……

いゆあ……



しゃば"しゃば"しゃば"しゃば"しゃば-しゃば...



その…、
ごめんなら



あ、あの…
ししよー。

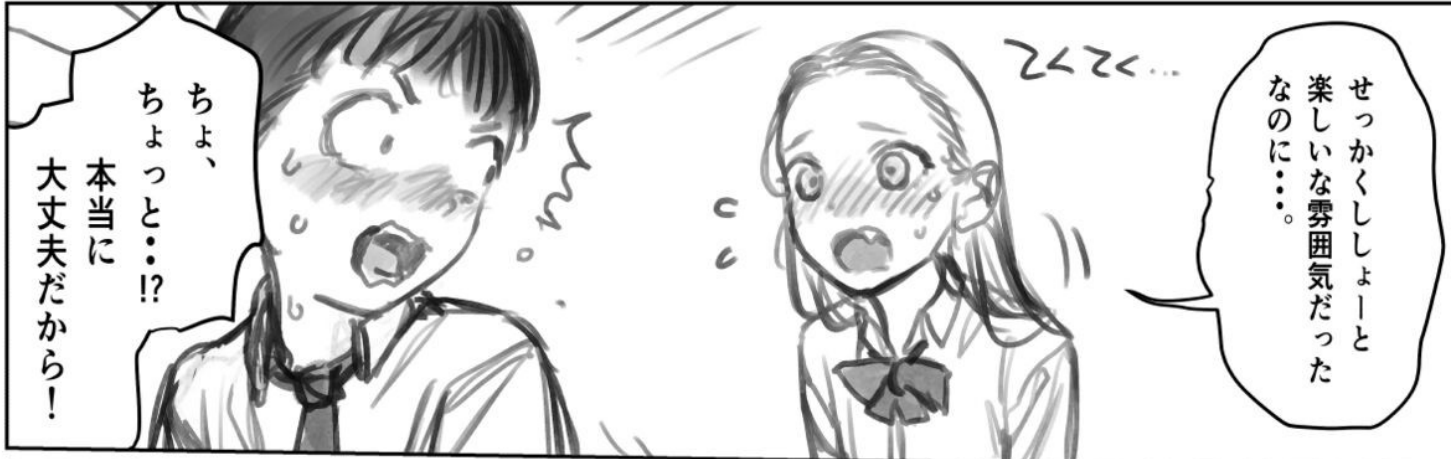


とほ……



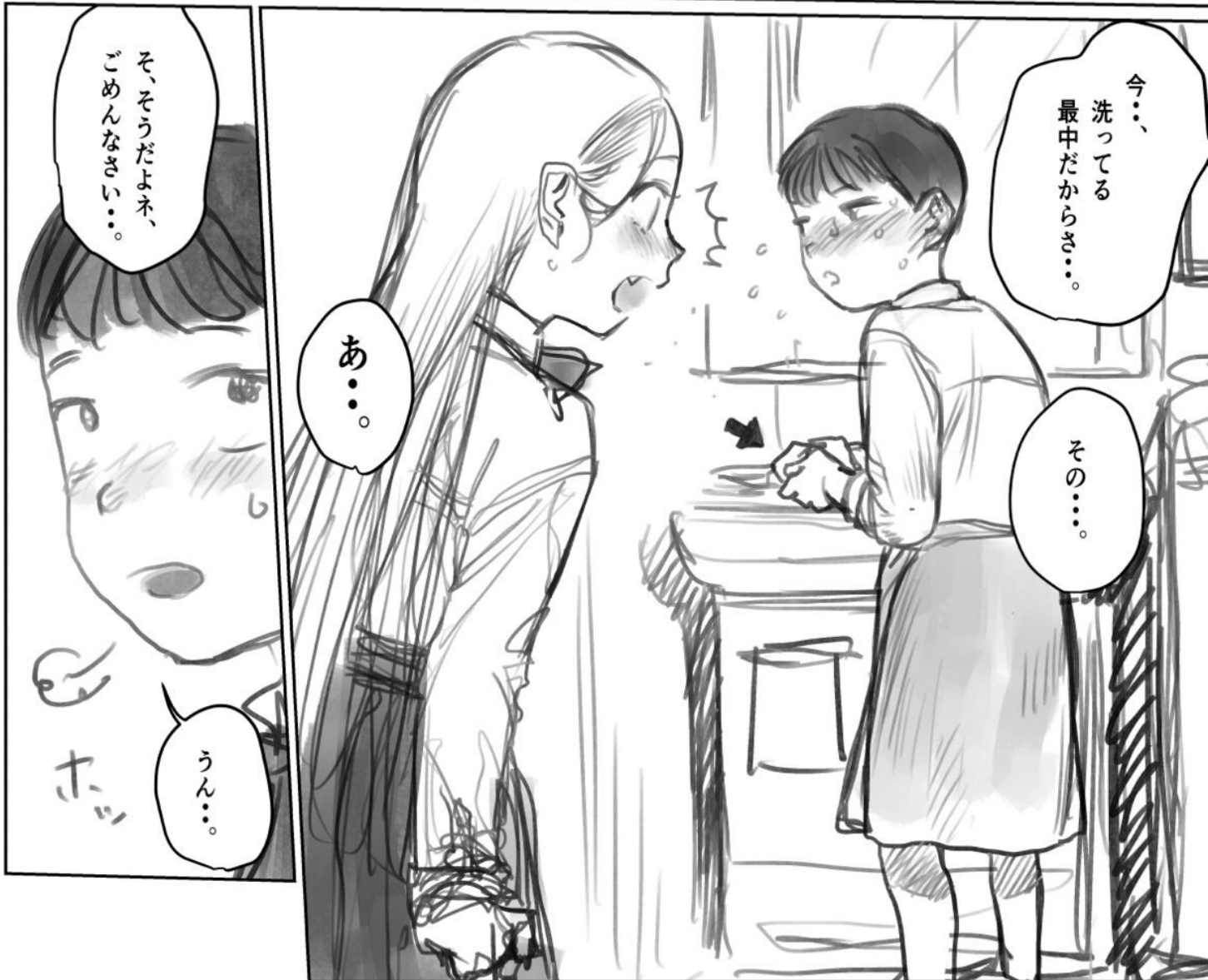
だ、大丈夫だよ。
サーシャさんが
悪い訳じゃ
無いから。
気にしないで。

そ、そんなコト
ないヨ...ッ!
サーシャが
やり過ぎ
だったなの!



せっかくししょーと
楽しいな雰囲気だった
なのに...。

ちよ、
ちよっと...!?
本当に
大丈夫だから!



今...
洗ってる
最中だからさ...。

その...。

あ...。

そ、そうだよネ、
ごめんなさい...。

うん...。





もしあの時…、
ししよーが見てるな
ダメじゃなくて

もっと色々のコト
シてくれたら…。

へ…へ…
へ…へ…

あ…あ…あ…
あ…あ…あ…

あ…あ…
あ…あ…

あ…あ…
あ…あ…

あ…あ…
あ…あ…

あ…あ…
あ…あ…

あ…あ…
あ…あ…

あ…あ…
あ…あ…

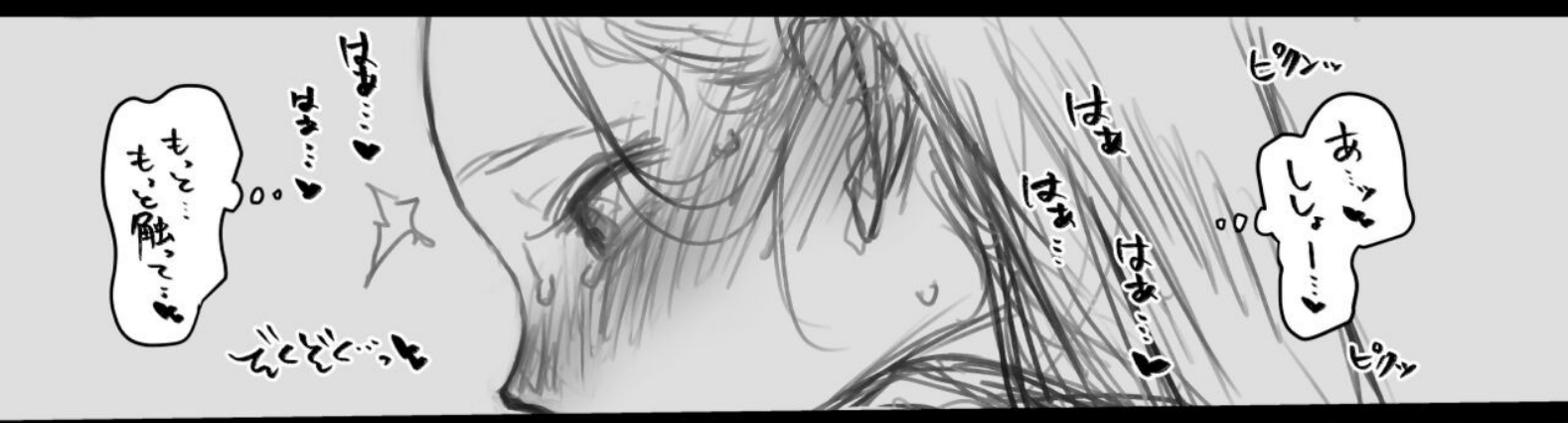
あ…あ…
あ…あ…

あ…あ…
あ…あ…

あ…あ…
あ…あ…

サーシャゼツタイ
抵抗シなかつた
なのに…。







はーっ
はーっ
はーっ

はーっ

はーっ

んっ
しっ
んっ
んっ
んっ

ちっ
ちっ
ちっ

ちっ

ちっ

ちっ
ちっ

はっ

くちくち
くちくち

はちがち
はちがち

んっ
んっ
んっ
んっ
んっ
んっ
んっ
んっ

ちっ
ちっ
ちっ
ちっ
ちっ
ちっ

んっ
んっ
んっ
んっ
んっ
んっ

はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ



